付録T-1: 幼稚園・小中高等学校用（TK-12）
新型コロナウイルス感染防止プロトコル

注: 本文書は頻繁に更新されます。
最新版はウェブページの日付をご確認ください。

最新の更新：(変更箇所は黄色で強調表示されています。)
2023年3月14日

- 今回の更新は2023年3月13日に発効したカリフォルニア州公衆衛生局(CDPH)の一般市民の隔離および待機に関する保健所管轄区域のためのガイダンスと一致するものです。
- また、更新事項は2023年3月13日に発効したロサンゼルス郡公衆衛生局のCovid-19症例（隔離）および濃厚接触者のためのガイドラインを反映し、一般市民の隔離および待機に関する現在無効のロサンゼルス郡公衆衛生緊急命令に代わるものです。

ロサンゼルス郡公衆衛生局(DPH)はトランジショナル・キンダーガーテン（TK）から12年生を育成する教育機関で、科学と公衆衛生学の専門知識に基づいたCovid-19感染症を封じ込めるための的を絞った公衆衛生上の対応策を取り組んでいます。州公衆衛生担当官およびカリフォルニア州教育省によって学校に課せられた条件に加え、学校は本書のプロトコルに含まれる全ての要件に準拠しなければなりません。

注: 本ドキュメントは、最新情報やリソースが入り次第更新されます。
LAC | DPH | TK-12 Education Toolkit までアクセスし、最新情報をお確かめください。

本ドキュメントはロサンゼルス郡(LAC)におけるキャンパス内の指導に関する現行の規定についての検討項目から始まり、その次に学校環境に特化した安全保障対策の情報を提供します。

このTK-12プロトコルは次の５つの分野での安全措置を提供します:
(1) 職場における職員と生徒を保護するために必要な方針と取り組み
(2) 換気の改善と混雑緩和のための措置
(3) 感染症対策を最適化するため措置
(4) 職員、生徒、その家族と一般市民とのコミュニケーション
(5) 重要なサービスへの平等なアクセスを確保するための対策

最初の項目では必要な方針と実践がまとめられています。他の４つの項目では、全ての職員、生徒、訪問者への安全性を高めるための計画を策定する際に、学校が実施することができる様々な対策が記載されています。全学校でいくつかの予防策や保護策が必要とされていますが、ほとんどの措置は任意であり、自由意志によるものです。それでもなお、学校がキャンパス内でのリスクの軽減や、症例および感染を抑えるために複数の新型コロナウイルス感染リスク軽減対策を実行することが適切です。 付録T2：幼稚園・小中高等学校（K-12）における感染管理計画で説明されている追加予防策も必要であり、その場にいる全ての人に適用されます。幼稚園・小中高等学校用のその他の情報は、K-12用新型コロナウイルスツールキットをご覧ください。

全学校においての一般的なガイダンス
TK～12年生用 新型コロナウイルス感染症対策チェックリスト

機関名: _____

住所: _____

注: 「職員」及び「スタッフ」という用語は、本プロトコルで、教育、コーチング、生徒サポート、各生徒へのセラピーまたは個人的援助の提供、施設の清掃またはメンテナンス、管理、または学校が機能するために必要なその他の活動に関連するあらゆる面に於ける学校施設で働く個人を指すために使用される。「職員」または「スタッフ」には、関連する学校システムによって直接賃金を支払われている個人、学校の請負業者として機能している企業、団体、機関などのエンティティ、生徒にサービスを提供するために学校と協力して行動している外部のエンティティ、または個々の生徒サービスを提供するために第三者により賃金を支払われている個人や、学校の指示の下で必要な機能を実行するために活動する無給のボランティアが含まれる場合もある。 本プロトコルでは、「保護者」という用語は、生徒の扶養者または親権者としての役割を果たす人を指すために使用される。

職場におけるスタッフ（「職員」）と生徒を守るための必要な方針と実践
(該当するものを全て選択)

A. 学校は、キャンパスでの新型コロナウイルス感染症の蔓延を防止及び抑制するための包括的なアプローチについて**新型コロナウイルスを封じ込め、対応及び管理計画を立てなければならない。**その計画には以下の要素が含まれるが、これらに限定されるものではない。

- ❑ 新型コロナウイルス感染症に関するすべての安全手順を確立して実施し、スタッフと学生がCOVID-19に関する教育を受けることの責任を負う、指定されたCOVID-19コンプライアンスチーム。このチームのメンバー1名をキャンパスで発生した場合の公衆衛生局への連絡担当者に指名する。
- ❑ 学校コミュニティのメンバー（教職員、学生、訪問者）の誰かが新型コロナウイルス検査で陽性であったことを学校関係者に通知した直後に実行される処置のプロトコル。
    - 現場での症例発生の通知があった場合、該当者を学校のコミュニティから即座に離れさせ、自宅で自主隔離させる。計画は、該当者が帰宅するために手配が必要な場合、現場にてその個人を一時的に隔離する必要がある。
    - 自主隔離に関する規制と詳細情報を含むサイトへのリンクを含むファクトシートまたはその他の情報資料を該当者（感染者が子供である場合は適切な家族）に提供する。
- ❑ 以下の手順を概説する**公衆衛生局のガイダンスと一致する**付録T2: 幼稚園・小中高等学校用感染管理計画を開始するためのプロトコル:
    - 感染者の隔離
    - 学校で感染者と濃厚接触した人の特定
    - さらなるウイルス感染リスクを軽減させるための感染者と接触のあった職員および/または

学生への対応。
- ワクチン接種の有無に関わらず学校内であった感染者と接触のあった生徒や職員に対する検査へのアクセスの保証。

❑ **2022年8月1日施行の症例報告ガイダンスへの対応。**学校は発症日前の14日間のいずれかの時点で関連があり校内にいた、教室、オフィス、あらかじめ決められた、または特定できるグループ（チームメート、クラブメンバー、コホートなど）において、３件以上の症例のクラスターを報告することが義務付けられている。発症日は、新型コロナウイルス感染症の症状が最初に現れた日、または検査日のいずれか早い方とする。クラスターの通知は学校側が通知を受けたら直ちに、１営業日以内に公衆衛生局にhttps://spot.cdph.ca.gov/s/?language=en_USからメールを送信するか、「TK-12学校機関新型コロナウイルス感染症例報告コールセンター」に電話で通知しなければならない。クラスターを通知に関する質問やサポートは「TK-12学校機関新型コロナウイルス感染症例報告コールセンター」へ電話かacdc-education@ph.lacounty.govへEメールで公衆衛生局に連絡をすること。公衆衛生局(DPH)は学校と協力し、クラスターが公衆衛生の集団発生時の対応を必要としているかを判断する。

❑ 学校または地域での集団発生に基づいた、対面式による学校運営を完全または部分的に閉鎖する必要がある場合の緊急時対応計画。新型コロナウイルスの集団感染の可能性により、完全または部分的に閉鎖する必要がある場合に備え、学校はコミュニケーション計画を作成し、その配布をしている。

❑ 新型コロナウイルス感染症に対応する検査を提供するためのプロトコル。少なくともこのプロトコルではワクチン接種の有無に関わらず、有症状の生徒や職員、またはSARS-CoV-2感染者との接触が判明している、もしくは疑われる生徒や職員の検査のアクセスを確保するための戦略を説明している必要がある。なお、現行のCal/OSHA （カリフォルニア州労働安全衛生庁）COVID-19感染症対策-非緊急時の規制では、雇用主は有給時に次のような職員に無料で検査を提供することが義務付けられていることに留意する:
  - 既知の暴露の有無に関わらず、症状のある職員。
  - 最近職場へ復帰した無症状の Covid-19 患者と見なされる職員(3205 項(b)(11))に定義される「職場復帰した症例」を参照)を除く、感染者と濃厚接触した全職員。
  - ワクチン接種の有無に関わらず、集団感染に巻き込まれた全職員に検査の提供がされなければならない。

❑ 新型コロナウイルス感染症の症状がある場合は学校施設への入場が許可されていないことを訪問者に示す標識が校内の各入り口に立ててあること。

B. 学校における雇用主と職員の義務

❑ 新型コロナウイルス感染者と濃厚接触した、またはそれが疑われる職員は付録 T2: 幼稚園・小中高等学校用感染管理計画に詳しく説明がしてある暴露後のガイダンスに従わなくてはならない。

❑ Cal/OSHA （カリフォルニア州労働安全衛生庁）COVID-19感染症対策-非緊急時の規制により、雇用主は新型コロナ感染症の症状が見られる職員を出勤させてはいけない。Cal/OSHA（カリフォルニア州労働安全衛生庁）は 職員のスクリーニングの特定の方法を規定していないが、推奨されるいくつかの方法を実施することで、この必須事項の遵守を支援することになる。

❑ 屋内で働き、他の職員、生徒、一般人と接触する、または他の人と車を共有する職員たちが任意で着用できるように、しっかりフィットする医療マスクや、N95、KN95、KF94などのレスピレーター（医療高性能マスク）を雇用主が無料で提供する必要がある。ワクチン接種の有無に関わらず、

雇用主は要求に応じて屋内で働いている、または他の人と車を共有する職員にマスクの適切なフィットの確認方法とともに、高性能マスクを提供することをCal/OSHAもまた、義務化していることに留意する。

- ❑ マスクの着用が危険である場合を除き、雇用主は活動への参加や、学校施設内に入る場合にマスクの着用を誰も拒否されることがないことを保証しなければならない。
- ❑ 個別の生徒に対し理学療法や個人的な援助の活動に従事する職員は適切な個人用防護具（手袋、マスク、ガウンなど）を着用しなければならない。

C. マスク着用の要求の実施

ロサンゼルス郡における全ての学校は、該当するマスクの着用を義務付ける衛生担当官命令を遵守し、その要件を職員、訪問者、保護者、生徒に伝える計画を立てることが必要とされている。

- ❑ **マスク免除の方針**: 衛生担当官命令により、学校を含む屋内の公共施設でユニバーサルマスキング（症状や感染の有無に関係なく、人との距離が取れない場合はマスクを常時着用するという感染予防策）が求められる場合、個別教育計画または504計画に基づいている生徒でマスクに耐えられない生徒、または教育上の理由、生徒の安全、既存の障害のためにマスクの着用が困難な状況に対応するために、別の感染予防対策を採用することができる。以下の場合はマスクの着用が免除される。
  - 2 歳未満の乳幼児
  - 聴覚に障害のある場合、または聴覚に障害のある人とコミュニケーションを取る場合に口元を見ることが不可欠な場合。
  - 基礎疾患、精神病、障害のある場合、または医療従事者からマスクの着用は安全ではないと判断された場合は学校に免除を申し立てることができる。国家資格を有する医療従事者による、マスクの安全な着用が不可能な状態や障害を証明する書類があれば、免除の証明として認められる。以下の免許を持つ医療専門家は上記の証明書を提供することができる。医師(MD または DO)、看護師(NP)、医師助手(PA)など、医師の免許を持つ人のもとで診療を行う医療従事者、臨床ソーシャルワーカー(LCSW)、臨床心理士(Psy.D. または Ph.D.)、専門臨床カウンセラー (LPCC)、結婚・家族療法士(LMFT)など、精神や行動保健学の免許取得者。

衛生担当官集団発生命令により、屋内でのユニバーサルマスキング、または特定の個人に対してマスクの着用が必要とされる場合があるが、マスク着用が免除される生徒は、体調が許す限り、下部にドレープのついたフェイスシールドをつけること。学校は、マスク着用が必要だが有効な免除が降りている人とのインタラクティブなプロセスを設けるべきであり、そのような生徒を預かる場合には代替の感染予防対策の実施を選択できる。検討すべき代替策には次のようなものがある：マスクをしていない生徒の定期的な（例：週一回など）スクリーニング検査、マスクをしていない生徒がいる室内空間の換気改善策、マスクをしていない生徒を解放されて窓、換気扇、HVAC吸気口、や自立型空気清浄機の近くに座らせる、マスクをしていない生徒と屋内空間を共有する生徒や職員に高性能マスク（N95、KN95、KF94など）を提供する。

- 濃厚接触者のマスク着用免除: 群公衆衛生局は先日、一般市民の隔離および待機に関する緊急命令を取り下げ、Covid-19症例(隔離)および濃厚接触者のためのガイドラインに変更。Covid-19の症状が見られない生徒には屋内で周りに人がいる状況では接触日から10日間し

っかりとフィットするマスクを着用することが強く推奨されている。無症状の濃厚接触者は接触日から3～5日後に少なくとも一度、検査を受けることが推奨される。**Covid-19検査で陽性と判断された濃厚接触者は自宅に待機し、感染が確認されたCovid-19患者への指示に従うこと。**マスクの着用が正式に免除されている濃厚接触者と特定された生徒が学校に留まる場合は、最終暴露日から10日間、自身の健康状態を観察しなければならない。Covid-19である可能性のある症状が現れた場合は、ワクチン接種や過去の感染の有無に関わらず、周りの人から離れCovid-19検査を受けること。公衆衛生局の「症状の理解および症状への対処方法」を参考。さらに、学校で集団感染が発生した場合、ロサンゼルス郡公衆衛生局の調査員が本プロトコルとは異なる臨時対策を実施することもあり、その指示に従わなければならない。

- マスクが着用できない職員はCal/OSHA（カリフォルニア州労働安全衛生局）COVID-19感染症対策–非緊急時の規制の職場復帰に関する要件を参照すること。

D. プロトコルのコミュニケーション

❑ 本プロトコルのコピーは全職員に配布されている。
❑ 本プロトコルのコピーは学校のオフィスに掲示されてあり、学校または学区のウェブサイトにも一般向けページにもアップロードされている。

換気の改善および職員、生徒、訪問者の混雑を緩和するための対策 (該当するものを全て選択)

❑ 校内の最適な換気を促進するための対策を講じることが強く推奨されている。これには以下の事項が含まれる（該当するものを全て選択）：

- 学校のHVACシステムは正常に機能している。HVACシステムは、米国暖房冷房空調学会(ASHRAE)によって設定された学校再開のガイダンスに精通した適切な技術者によって評価されることを検討する。_____
- HVACシステムは屋外環境が不適切（最近の火災、非常に高い外気温、花粉飛散量が多いなど）でない限り、屋内と屋外の空気の入れ替えを最大化するように設定する。_____
- 可能な場合は効率に優れたポータブル空気洗浄機を設置する。_____
- ドアや窓は学校が開いている時間帯に屋外の状況により適切であれば可能な限り開放する。防火扉の閉鎖を義務付けている現行の消防法を遵守すること。_____
- エアフィルターは効率の高いものにアップグレードされている (MERV-13かそれ以上のものが推奨されている)。_____
- 体育館は収容人数が多く、高リスクの活動がコートで行われるため、換気を改善することは、高リスクの競技により発生するウイルス感染や集団感染のリスクを下げるための重要な戦略である。フロアレベルでの換気を改善するための扇風機の使用は、このリスクを軽減する上で大きな効果をもたらす場合がある。 詳細なガイダンスについては、体育館における換気の最善対応方法を参照のこと。_____
- その他:

_____

CDCのインタラクティブツールやCDPHのガイダンスを含む学校における大気質改善に関する詳細はLACDPH TK-12学校機関 COVID-19 ツールキットを参照のこと。

- ❑ スクールバスでの生徒の物理的距離を施すための措置を行うことを検討する。その措置には次を含む（該当するものを全て選択）：
  - バスの１座席につき子供１名の着席。_____
  - 交互に列を使用する。_____
  - 大気質と乗客の安全上の心配がない場合は窓を開ける。_____
- ❑ 生徒、保護者、または訪問者が到着し校内に入り、校内を移動する際に、人混みを避ける対策を実行することを検討する。
- ❑ 体育の授業はできるだけ屋外で行うことを検討する。

感染管理の最適化対策 (施設に該当するものを全て選択)

- ❑ 職員、生徒、保護者や訪問者に症状が見られる場合は家で待機するように積極的に勧めるようにする。雇用主や施設はCovid-19の症状のあるまたは陽性と検査で診断された人は誰も施設に入ってはいけないことを伝える手段を準備しておくこと。
  ＊過去30日間に検査機関で陽性が確認され、その後回復し症状がない場合は、スクリーニング検査は推奨されていない。

- ❑ 重症化リスクのある人は以下のような状況では高性能マスクを着用することが強く推奨される：
  - 換気の悪い密閉空間
  - たくさんの人が集まる場所、および
  - 特に人が至近距離で会話を（または激しく呼吸）するような濃厚接触する状況

  学校および学区はより高い安全性を人々に提供するために、現行のロサンゼルス郡におけるガイダンスよりも制限の厳しいマスク着用に関する方針を自由に実施することができる。

- ❑ 新型コロナウイルス感染症や、その他の呼吸器疾患の予防に効果があることおよび、着用を希望する人のために適切なマスクの使用法を示す標識を学校の入口、学校のオフィスの入口、及び校舎全体に、引き続き掲示することが推奨される。_____
  - 子供が今後もマスクを着用することを希望する、年少の生徒の保護者は、子供が着用しているフェイスマスクが汚れた場合に備え、毎日学校にもう一枚フェイスマスクを持参させることが推奨される。これにより、日中フェイスマスクを取り換えることができる。
    _____

- ❑ 周囲に誰もおらず、スクールナース（保健室の先生）や他の職員が一人で仕事をしている場合を除き、保健室や衛生室ではマスクを着用することが推奨されている。学校にいる間に発症の可能性のある生徒のためにマスクを準備しておくことは校内の安全を確保するために推奨される。

- ❑ 校内全体のスペース、表面、及び物体の適切な洗浄と消毒を促すための対策を準備することが推奨される。これには以下のようなことが含まれる(該当するものすべて選択)：

- バスはCOVID-19の症状を示している個人を搬送した後、毎日徹底的に清掃及び消毒する。運転手には、運航中に必要に応じて表面の消毒を支援するために、除菌用ウェットティッシュと使い捨て手袋が提供されている。_____

- 新型コロナウイルスに対して有効な洗浄製品（環境保護庁（EPA）承認リスト「N」に記載されている）は、製品の指示に従って使用する。 EPA承認の消毒剤が利用できない場合は、代替の消毒剤を使用する（例えば、1/3カップの漂白剤と1ガロンの水の混合液または70%アルコール溶液）。吸い込むと非常に危険な可能性のある有毒ガスが発生するため、漂白剤やその他の洗浄及び消毒製品を混合しないこと。_____

- 校内の表面と物の清掃・消毒を担当する用務員及びその他のスタッフは、製造元の指示事項、及び該当する場合は学校保健法により求められているCal / OSHAの安全使用のための要件に関するトレーニングを受けている。_____
- 清掃・消毒を担当する用務員及びその他のスタッフは、製品の使用に必要な手袋、眼や呼吸の保護及びその他の適切な保護具を含む適切な個人用保護具(PPE)を装備している。_____

- 全ての掃除用洗剤は子供の手の届かない、立ち入りが制限されたスペースに保管されている。_____

- 清掃及び消毒中は、可能な限り最大限に換気を行う。エアコンを使用している場合は、新鮮な空気を取り込む設定を使用する。エアフィルターとろ過システムを交換して、最適な空気品質を確保する。_____

- トイレ、ロビー、休憩室、ラウンジ、その他の公共エリアは以下の頻度で清掃される。定期的清掃は運営時間中、少なくとも1日1回、又はそれ以上の頻度で行われることが推奨されている。
    - トイレ: _____
    - ロビー/入口エリア: _____
    - 教員/スタッフ休憩室: _____
    - 教室: _____
    - カフェテリアの飲食エリア: _____
    - カフェテリアの調理場: _____
    - フロントオフィス: _____
    - その他のオフィス: _____
    - その他のエリア: _____

❑ スタッフ、生徒、及び訪問者が頻繁な手洗いを促す対策を行うことが推奨される。これには以下が含まれる（該当するものすべてを選択）:

- 生徒とスタッフは、石鹸で20秒間手をよくこすって洗い、ペーパータオル（または使い捨ての布タオル）を使用して手を完全に乾かす機会が頻繁に与えられている。_____

- 低学年の生徒には、食事の前後、トイレの後、野外遊びの後、グループ活動の前後など、こまめな手洗い休憩を定期的に予定に組み込む。_____

- 洗面台やポータブルな手洗いステーション（教室内またはその付近、サポートサービスが提供されている部屋、音楽室、美術室など）がない校内全体の要所で生徒とスタッフがエチルアルコールベース（エタノール60%以上）の手指アルコール消毒剤を利用できるようにする。学校環境ではエチルアルコールベースの手指アルコール消毒剤の使用が優先される。イソプロピルアルコールを主な主成分とする手指消毒剤は刺激性が高く、皮膚から体内に吸収されるため学校では使用しない。_____

- 手指アルコール消毒剤を誤飲すると、アルコール中毒を引き起こす可能性がある。手指消毒剤には自由にアクセスできるのではなく、9歳未満の子供は大人の監視下で使用する必要がある。教職員は誤飲のリスクを認識しており、生徒による手指消毒剤の誤飲を確信する理由がある場合は、中毒事故管理センター1-800-222-1222まで連絡する。_____

- 手指消毒剤、石鹸と水、ティッシュとゴミ箱は、施設の入り口付近、受付、及び職場内のその他の場所、または人々が直接交流する建物のすぐ外で公衆が利用できるように配備する。_____

❑ すべての職員はCOVID-19に対して効果的な手指消毒液を以下の場所で利用できるようにすることが推奨されている。（該当するものをすべて選択）：
- 建物の出入り口 _____
- メインオフィス_____
- 階段の入り口_____
- エレベーターの入り口(該当する場合) _____
- 教室 _____
- 教員休憩室_____
- 教員室: _____

学校スポーツおよび舞台芸術に関する特別な検討事項

❑ **一般的な検討事項**：コンタクトスポーツ、合唱、管楽器の演奏、演劇のリハーサルや本番でのダンスや発声練習など、呼吸数が増加する、または息切れするような身体運動やその他の活動は特に屋内および市中感染が拡大している際にウイルス感染のリスクを高める。クラスでの集団感染発生件数の早期警戒指標で危険度が高いとCOVID-19対応計画により検知された場合、高リスクな活動において、マスクの着用が強く推奨される。教育機関、舞台芸術、クラブ、青少年スポーツクラブおよびリーグは、上記の高リスクな活動において、より慎重なアプローチを取ることや、より厳格なマスク着用および検査方針を導入することが自由にできる。

❑ **学校スポーツ**
- 学校スポーツやクラブを含む、すべての組織化された青少年スポーツは新型コロナウイルス感染症拡大のリスクを軽減するために付録S：組織化された青少年スポーツプロトコルを見

直し、その規制に従わなければならない。次に具体的な推奨事項を挙げるが付録Sを代替するものではない。

- 屋外スポーツでも、チームバスでの移動やウェイトトレーニング、ロッカールームの共有、試合の映画鑑賞など、屋内で起こる高リスクな交流がある。スポーツプログラムはこのような状況でのマスクの着用、ワクチン接種の義務化、定期的な検査、ウェイトルームやロッカールームを同時に使用する参加者数の制限、可能な限り屋外に移動して活動することなど、さらなる安全対策の適切性を検討する必要がある。

- 青少年スポーツ活動を屋内で行う場合は、建物の暖房、換気、及び空調(HVAC)システムが正常に機能していることを確認する。体育館の換気は床置き型扇風機を戦略的に配置することで改善される。図解は体育館の換気の最善方法を参照。

❑ 音楽クラス

- 現在のCOVID-19コミュニティ指標（高い市中感染率など）により、特に屋内において、グループで管楽器の演奏や歌唱する際に、追加の安全対策を講じることが必要とされているのであれば、学校はそのことについて検討してもよい。いくつかの提案事項は以下の通り:
    - 管楽器を演奏する人は、楽器を演奏している時にマウスピースを咥えられるように工夫されたマスクを適切に着用することができる。生徒が練習や演奏をしていない時は、顔全体を覆うものに付け替えることができる。
    - 管楽器を演奏する時は、その楽器のベルカバーを使用することが推奨される。
    - 管楽器演奏者とその他全ての参加者の間に（最低3フィート推奨）の物理的距離を保つことを検討する。
    - 特にマスク着用、ベルカバーの使用、物理的距離を保つことを実行していない場合は、屋内でのグループでの練習や演奏に参加する**全て**の人に、少なくとも毎週1回PCR検査か抗原検査を学校が定期的に行うことを検討する。

      このような活動を可能な限り屋外に移すことで換気の悪い、混雑している屋内でのリスクを大いに低減できる。上記で説明されている工夫されたマスク、ベルカバーや距離を置くことなどの追加の感染予防対策は学校側が希望する注意喚起の程度に応じて講じることができる。
- 合唱など、グループでの音楽活動では、その他の検討事項に屋内でマスクを着用せずに推奨される物理的距離を保てない状態で歌手が歌う場合、グループ内の全てのメンバーが少なくとも週1回定期的に検査を受けることを検討する。
- 可能であれば、使い捨ての吸収パッドまたは他の用品を使用して、スピットバルブまたはウォーターキーの内容物を回収する。使用後は廃棄または適切に清掃する。

❑ 演劇クラス

- 屋内での練習中やリハーサル中にマスクを着用せず物理的距離が保てない場合、少なくとも週1回定期的な検査を行うことを検討する。

- 可能な限り、屋内ではなく、バーチャル方式または屋外でリハーサルとパフォーマンスを行うことを検討する。

❑ **ダンスクラス**

- 激しい運動により、大量の飛沫が放出されるような動きをしている際中は、個人間の距離の拡大、および/または、そのような活動は屋外に移動して行うことを検討する。
- 屋内での活動中にマスクを着用せず物理的距離が保てない場合、少なくとも週1回定期的に検査を行うことを検討する。

❑ **音楽の録音**

- 比較的狭い限られた屋内空間に大量の飛沫が放出されるため、特に歌手がマスクを着用していない場合、歌手とサウンドブースまたはレコーディングブース内の全ての人との距離を拡大することを検討する。
- 他者と一緒にサウンドブース内で管楽器を演奏している場合、安全性を改善し、リスクを軽減する方法の提案事項については、上記の音楽クラスを参照のこと。
- 管楽器以外のグループの楽器の演奏も、サウンドブースを使用して録音できる。 ただし、その他すべての屋内スペースにおいては、特にマスクを着用していない場合、可能な限りすべて演奏者間で常に最低3フィートの物理的距離を維持することを検討する。
- マスクを着用せず物理的距離が保てない場合、レコーディングブースを共有するグループの全てのメンバーが少なくとも週1回定期的に検査を行うことが強く推奨される。
- ブースを別の演奏者または演奏者のグループが使用する前に、十分に換気して（空気清浄機の使用を検討する）、完全な空気の入れ替えを促進し、共有する機器（マイクなど）を消毒する。

❑ **パフォーマンス**

- 全てのTK-12学校主催のパフォーマンスは、特に屋内でのパフォーマンス中にマスクが着用されない場合、追加の安全対策を講じることを検討する。出演者と濃厚接触するステージクルーや出演者全員が、プロダクションの初顔合わせの72時間前から公演日程の最終日まで、少なくとも週1回定期的に検査を受けることを検討する。

学校内のコミュニティ、および一般市民とコミュニケーションを図るための対策

❑ 学校の方針に関する情報が学校の始業前に保護者と生徒に送付されている（該当するものをすべて選択）:

- 症状がある、もしくはCOVID-19に曝された可能性のある生徒に適用される隔離及び待機の方針 _____
- 生徒またはその家族が発症している、またはCOVID-19感染者と接触のあった場合のCOVID-19検査のオプション_____
- 生徒に症状がある、または感染した可能性がある場合の学校での連絡先:
  _____
- 生徒が自宅を出る前に症状の検査を行う方法 _____

- 新型コロナウイルスやその他の呼吸器感染症の感染リスクを減少させるマスクの効果および、すべての人が干渉や差別の脅威を受けることなく、個人の自由にマスクを着用する権利。

  _____
- いかなる物理的距離と感染防止ポリシーに対する生徒が遵守することの重要性 _____
- リスクを回避するための学業及び課外プログラムの変更_____
- 保護者の学校訪問に関する学校の方針と学校に遠隔で連絡することの推奨_____
- 複数の保護者の連絡先オプションを含む最新の緊急連絡先情報を学校に提供することの重要性_____
- その他:

  _____

重要なサービスへの平等なアクセスを確保するための対策

❑ 特別な支援を要する生徒の個別教育計画（IEP）及び504プランが更新され、生徒に過度のリスクを与えることなく教育を継続できるようになっている。
- この計画には新学期の初めに保護者と積極的に連絡を取り、生徒の教育と安全に関連する問題に確実に対処する方法が含まれる。
- 個々のIEPと504プランの変更には、遠隔学習、生徒数の少ない分離されたエリアでの学校への出席、または対面学習と遠隔学習を組み合わせたハイブリッドアプローチが含まれている。
- IEPや504計画を変更するために講じた措置とは、生徒の安全を確保するために、州法及び連邦法の関連規定に準拠していることを保証する。

❑ 遠隔で提供できる総務サービスまたは運営（クラスの登録、フォームの送信など）はオンラインに移行済み。

企業は 上記に含まれていない追加対策について別紙に記載し本文書に添付してください。

本プロトコルに関するご質問やご意見は、以下の担当者までご連絡ください：

企業担当者名: _____

電話番号: _____

最終改訂日: _____